Course7

滋賀・近江八幡

ロープウェイでらくらく♪

八幡山

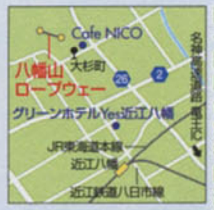
自然豊かな山を縦走して城下町の素朴な風景を満喫

1585年、18歳にして近江43万石の領主に任ぜられ、信長亡きあとの安土城下の民を近江八幡に移し、城下町を開いた豊臣秀次。その居城、八幡山城址がある八幡山は、ルート上の展望スポットから市街地や八幡堀などが望める、小高い丘のような山だ。山頂付近までロープウェイで登れるから、コースは下りメインで安心！

ハイキングDATA

- ●標高…272m
- ●歩行距離…4.1km
- ●歩行時間…約1時間50分
- ●コース難易度…●●●○○
- ●トイレ…山麓駅、山頂駅、百々神社近くに各1か所●備考…ロープウェイ山麓および山頂駅に売店あり

?近江八幡観光物産協会
☎0748・32・7003



住近江八幡市 P20台（ロープウェイ利用者は無料）交●電車→Ⓙ近江八幡駅より近江鉄道バス長命寺行約7分♀大杉町から徒歩5分●車→名神高速道路竜王ICより国道477号線を北へ、県道165号線を北東へ、県道326号線を北西へ。約13km・約30分

山頂駅から徒歩3分ほど歩くと西の丸展望台に。比良山系をバックにした琵琶湖と広大な田畑が広がる、湖国らしいパノラマが望める

ロープウェイDATA

料金片道¥490、往復¥880
乗車時間約4分運行時間9:00〜17:00の毎時15分間隔※混雑時は臨時運行あり☎0748・32・0303（八幡山ロープウェー）

八幡山の南東部にあり、全長543mのロープウェイ。縦走ハイキングはもちろん、八幡城址や瑞龍寺への観光・参詣にも利用できる

↑ロープウェイ山麓駅。すぐ前には利用者専用の無料駐車場も用意されている

八幡山のお楽しみ

琵琶湖八景の一つ「春色・安土八幡の水郷」に数えられる近江八幡の水郷を船に乗り、のんびり楽しめるのが「水郷めぐり」だ。織田信長や豊臣秀次が戦国の世の疲れを癒すため、宮中の雅やかな遊びをまねたのが始まりと言われている。現在5社が実施していて、定期便なら1人でも予約なしで利用OK。?近江八幡駅北口観光案内所☎0748・33・6061営乗り場により異なる休なし※一部例外あり料定期船¥2,160

---

3 水郷展望台

10:55

（2から約1.1km、約35分）

琵琶湖最大の内湖、西の湖や、重要文化的景観第1号にも指定された、円山・白王地区の「近江八幡の水郷」が眼下に広がる絶景ポイント。懐かしい日本の原風景を満喫しよう。

↑目立つ看板はなく、「重要文化的景観地区展望台」と書かれた標識のみ。見逃さないように注意しよう

2 北虎（きたこ）の口展望台

10:00

（1から約1.3km、約40分）

八幡山にあったと言われるもう一つの城、北之庄城の城跡にある展望台。織田信長の城としてその名を知られる安土山の安土城址、北東には伊吹山・霊仙岳・御池岳などが一望に。

←ハイキングコースの中間地点の展望スポット。看板が設置されているだけで、ベンチなど休憩施設はなし

下山後のお楽しみ

Cafe NICO

デザート付きのランチセットが人気

うどんDEパスタやニコライス（写真）など、滋賀県の特別栽培米や地元野菜を使った創作料理（ランチタイムのみ）と、手作りスイーツが楽しめる。焼きたてワッフルも種類豊富！

住近江八幡市多賀町579-2☎0748・47・7325営11:00〜21:00（LO20:30）※ランチタイム11:30〜14:30（LO）休㊐※連休の場合営業席30席禁煙P約10台（無料）

←オリジナルタコライスにワッフル、ドリンクが付くワッフルセット¥1,620

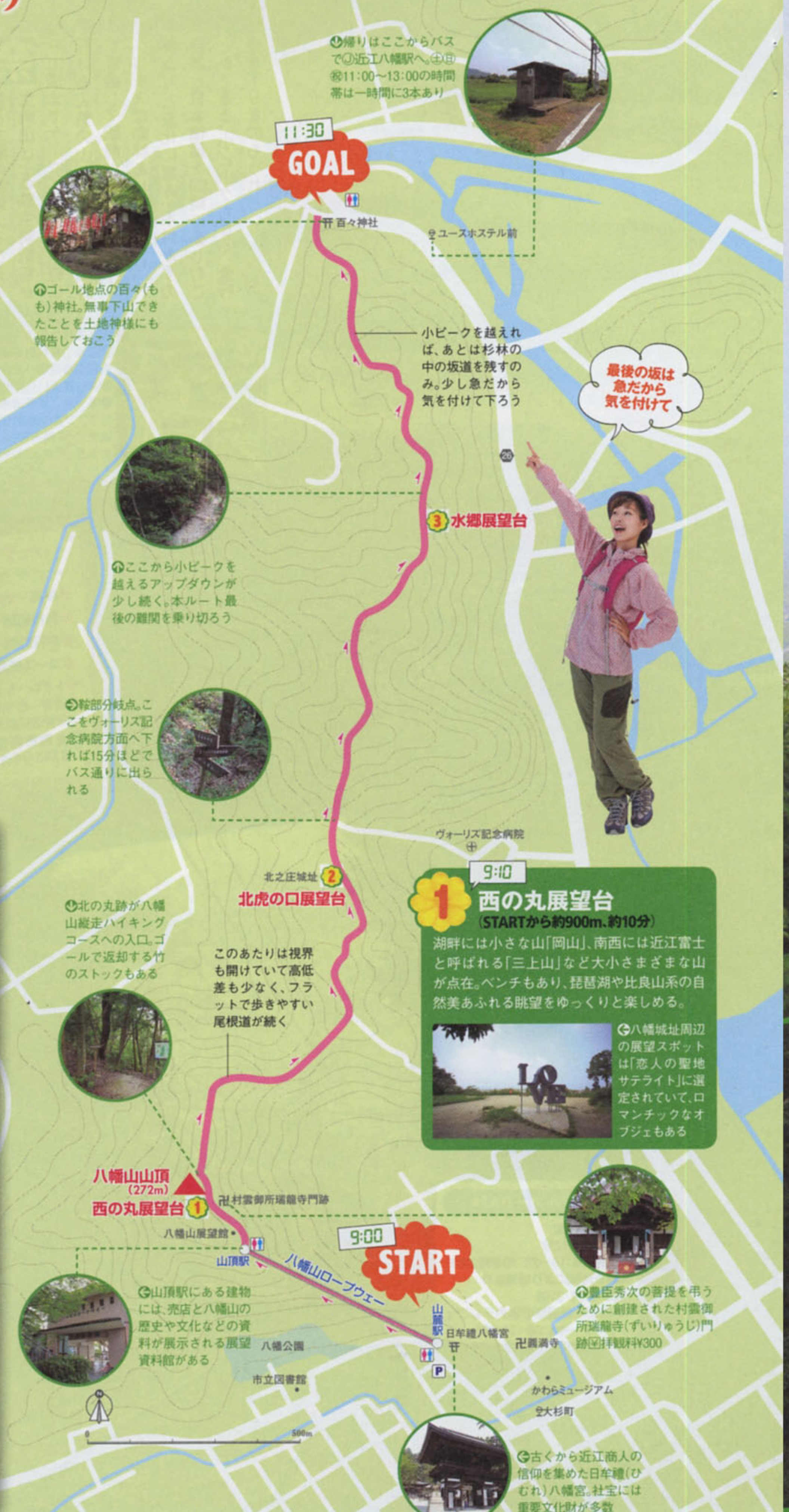
グリーンホテルYes近江八幡

広々とした浴場でリフレッシュ！

JR近江八幡駅から徒歩7分の好立地にあるホテルの大浴場が日帰りで利用できる。人工の炭酸カルシウム温泉は体の芯までポカポカと温まり、ハイキング疲れを癒してくれる。

住近江八幡市中村町21-6
☎0748・32・8180
営日帰り入浴11:00〜19:00
休なし料¥800
P56台（無料）

←北海道の名湯「二股温泉」の原石を使用。タオル、バスタオルレンタル付き



↓帰りはここからバスでⒿ近江八幡駅へ。㊏㊐㊗11:00〜13:00の時間帯は一時間に3本あり

↑ゴール地点の百々（もも）神社。無事下山できたことを土地神様にも報告しておこう

小ピークを越えれば、あとは杉林の中の坂道を残すのみ。少し急だから気を付けて下ろう

↑ここから小ピークを越えるアップダウンが少し続く。本ルート最後の難関を乗り切ろう

→鞍部分岐点。ここをヴォーリズ記念病院方面へ下れば15分ほどでバス通りに出られる

↓北の丸跡が八幡山縦走ハイキングコースへの入口。ゴールで返却する竹のストックもある

このあたりは視界も開けていて高低差も少なく、フラットで歩きやすい尾根道が続く

←山頂駅にある建物には、売店と八幡山の歴史や文化などの資料が展示される展望資料館がある

↑豊臣秀次の菩提を弔うために創建された村雲御所瑞龍寺（ずいりゅうじ）門跡料拝観料¥300

←古くから近江商人の信仰を集めた日牟禮（ひむれ）八幡宮。社宝には重要文化財が多数

1 西の丸展望台

9:10

（STARTから約900m、約10分）

湖畔には小さな山「岡山」、南西には近江富士と呼ばれる「三上山」など大小さまざまな山が点在。ベンチもあり、琵琶湖や比良山系の自然美あふれる眺望をゆっくりと楽しめる。

←八幡城址周辺の展望スポットは「恋人の聖地サテライト」に選定されていて、ロマンチックなオブジェもある

八幡山のスポット

「八幡山城」は安土城の焼失から3年後、1585（天正13）年に18歳にして近江43万石の領主となった豊臣秀次（豊臣秀吉の甥）が築城した城。本丸、二の丸、北の丸、出丸から成る城郭を持ち、南側の山麓には城主「豊臣秀次」の居館や重臣たちの邸宅があったとされ、中世山城の形を取る最後の城として、歴史的価値が高いとされている。1595年、秀次自刃後に八幡山城は廃城となり、現在は石垣を残すだけになっている。